

報道関係各位

2026 年 7 月 15 日

独立行政法人国立美術館 国立国際美術館

国立国際美術館と大阪中之島美術館のコレクションを活用した事業
「コレナカ」が始まります
－両館は包括連携協定を締結－

コレ ナカ

Collections
in Nakanoshima
NMAO-NAKKA

「コレナカ」ロゴ

独立行政法人国立美術館 国立国際美術館（大阪市北区、館長：島 敦彦）と大阪中之島美術館（大阪市北区、館長代行：植木 啓子）は、両館が有するコレクションおよび専門性を相互に活かし、地域文化の振興と地域活性化を目指す新たな取組「コレナカ」（Collections in Nakanoshima NMAO-NAKKA）を開始します。

これに先立ち、両館は、2026 年 7 月 14 日に「コレクション活用による地域活性化に向けた包括連携協定」を締結しました。



左：大阪中之島美術館 館長代行 植木啓子、右：国立国際美術館 館長 島敦彦

国立国際美術館（NMAO）は、1977 年の開館以来、戦後の国内外の現代美術を中心に約 8,300 点を収蔵し、我が国唯一の現代美術を基軸とする国立美術館として活動してきました。隣接する大阪中之島美術館（NAKKA）も、世界の近現代美術やデザインと大阪の芸術文化をつなぐ約 7,000 点のコレクションを有し、両館は大阪・中之島エリアを代表する文化拠点として、それぞれ特色ある取組を展開しています。

近年の訪日客増加や都市観光の多様化を踏まえ、今後、複数年にわたり、両館の作品や専門性、人材などを活用し、地域住民の文化的享受の拡充、来訪者交流の促進、地域の魅力向上を図ります。

2026 年度の主な取組（予定）

① 国立国際美術館で開催するコレクション展における大阪中之島美術館のコレクションの紹介

2027 年に開館 50 周年を控えた国立国際美術館では、2026 年度のコレクション展を「開館 50 周年記念プレ企画」と位置づけ、2 期に分けて、開館年である 1977 年に至るまでの美術の動向を所蔵品によって振り返ります。

ポール・セザンヌから 1960 年代半ばまでの作品 140 点をご紹介します「コレクション 1：私／行為」（会期：7 月 19 日～11 月 3 日）では、最終章において、戦後の女性の作家たちによる作品を一堂に展示します。そのなかで、国立国際美術館が所蔵する田中敦子の代表作《地獄門》および大辻清司撮影の田中作品の写真とともに、大阪中之島美術館所蔵の田中敦子の素描 8 点をご紹介します。中之島エリアと深いつながりを持つ「具体」出身の田中敦子。両館のコレクションをあわせて展示することで、作家の思考と制作の過程を立体的に浮かび上がらせます。

② 大阪中之島美術館における国立国際美術館コレクションの展示（2026 年 10 月 6 日～11 月 8 日予定）

関西ゆかりの若手作家の個展やユニークベニューとしてイベントが開催される大阪中之島美術館 2F の多目的スペースにおいて、国立国際美術館のコレクションから、彫刻や映像作品を中心とした選りすぐりの作品を展示します。

③ シンポジウムの開催（2026 年 11 月 3 日予定）

②の大阪中之島美術館での展示期間中に、同館においてシンポジウムを開催します。両館の館長、学芸員、所蔵作家などが登壇し、「美術館におけるコレクション形成とその活用」（予定）をテーマに議論を深めます。

両館長コメント

国立国際美術館 館長 島 敦彦

国立国際美術館では、大阪中之島美術館が開館する前から、両館のコレクションを集めた企画展「夢の美術館：大阪コレクションズ」（2007 年）を開催するなど、長年にわたって双方のコレクションの魅力を発信してまいりました。2022 年に大阪中之島美術館がついに開館して以来、中之島周辺にはこれまでにない多くの方々が来てくださるようになりました。このたびの連携事業が、中之島の一層の活性化に寄与することを願ってやみません。

大阪中之島美術館 館長代行 植木 啓子

構想から 40 年を経て開館した大阪中之島美術館が、この 5 年、この場所で確実に活動を重ねることができているのは、中之島に集積されてきた歴史や知見、人々の活動やネットワークがあるからこそ実感しています。これまで国立国際美術館と取り組んできた連携が今回の包括連携協定によってさらに強化され、中之島の面的な芸術振興の力をより広く示せることは、大阪の新しい創造活動のエンジンとなると考えています。この連携に今後ともぜひご注目ください。

国立国際美術館について



1977 年に開館。我が国唯一の現代美術を基軸とする国立美術館として、戦後の国内外の現代美術を中心に約 8,300 点を収蔵しています。2004 年に万博記念公園から大阪・中之島へ移転後も、現代美術の魅力を発信し続けています。近年は非欧米圏の美術や女性作家にも注目し、展覧会や教育普及事業を通じて多様な人々に開かれた活動を展開しています。

所在地：大阪市北区中之島 4-2-55

URL：<https://www.nmao.go.jp/>



大阪中之島美術館について



2022 年に開館。19 世紀後半から現代までの美術・デザインを中心に約 7,000 点の作品を収蔵しています。大阪ゆかりの作家や世界の近現代美術・デザインを幅広く紹介するとともに、多彩な展覧会や教育普及事業を展開し、中之島エリアを代表する文化拠点として芸術文化の振興と地域のにぎわい創出に取り組んでいます。

所在地：大阪市北区中之島 4-3-1

URL：<https://nakka-art.jp/>



【本件に関するお問い合わせ先】

国立国際美術館 広報事務局（株式会社プラップジャパン内）

TEL：03-4570-3159 FAX：03-4580-7298

E-mail：nmao-pr@prap.co.jp

2026 年 7 月 15 日

報道関係各位

国立国際美術館 広報事務局

国立国際美術館 広報事務局開設のお知らせ

平素より国立国際美術館の広報活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、報道関係者の皆様への迅速かつ円滑な情報提供を目的として、「国立国際美術館 広報事務局」を開設いたしました。当事務局では、中之島エリアの現代アート拠点形成を目指す大阪中之島美術館との豊富なコレクション連携事業をはじめ、2027 年の国立国際美術館開館 50 周年に向けた各展覧会など、当館が発信するさまざまな最新情報をメディアの皆様へお届けしてまいります。

今後の展覧会や各種事業に関するご取材・お問い合わせにつきましては、下記、広報事務局までお気軽にご連絡ください。

■国立国際美術館 広報事務局（株式会社ブラップジャパン内）

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00（祝日・年末年始を除く）

TEL：03-4570-3159 / FAX：03-4580-7298 / MAIL：nmao-pr@prap.co.jp

※ブラップジャパン内の広報事務局は、2027 年 3 月 31 日までとなります。

掲載誌など見本誌の送付先は、以下までお願いいたします

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-2 ミッドタウン・イースト 8 階

宛先：株式会社ブラップジャパン 国立国際美術館 広報事務局

■主な対応内容

- ・当館へのご取材のご依頼、ご相談
- ・展覧会やイベント等に関するご取材のご依頼、ご相談
- ・広報用画像の貸出対応

広報用画像（写真データ）につきましては「広報画像申込書」をダウンロードのうえ、FAX またはメールにてお申し込みください。<https://www.nmao.go.jp/press/>

- ・掲載記事・放送内容等の事実確認
- ・その他、広報に関するお問い合わせ

報道関係者の皆様とのより良いコミュニケーションを通じて、国立国際美術館の活動や魅力を広く発信してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上